

ジーコム独自調査レポート NO.149

コロナ禍での 宿泊旅行の意識

福岡県居住者の「この夏の外出予定」に関する調査

2021年8月

Research & Consulting
G:COM

株式会社ジーコム

調査概要

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

2021年7月16日（金）～7月23日（金）

4. 調査規模

484サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比 (%)
男性	210	43.4
女性	274	56.6
全体	484	100.0

■年代	件数	構成比 (%)
20代	25	5.2
30代	109	22.5
40代	84	17.4
50代	82	16.9
60代	120	24.8
70代以上	64	13.2
全体	484	100.0

■居住地	件数	構成比 (%)
福岡市内	266	55.0
市外都市圏	104	21.5
その他福岡県	114	23.6
全体	484	100.0

■ライフステージ	件数	構成比 (%)
未婚	118	24.4
既婚・子どもなし	52	10.7
既婚・子どもが小学生以下	98	20.2
既婚・子どもが中学生以上で扶養	49	10.1
既婚・子育て終了	167	34.5
全体	484	100.0

■職業	件数	構成比 (%)
会社員	127	26.2
公務員	17	3.5
団体職員・病院勤務	15	3.1
経営者・会社役員	9	1.9
派遣社員・契約社員	37	7.6
商工自営	20	4.1
自由業	11	2.3
学生	2	0.4
パート・アルバイト	71	14.7
専業主婦（主夫）	106	21.9
無職	66	13.6
その他	3	0.6
全体	484	100.0

【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

1. 今年の夏のレジャー予定

ほとんどの項目は1割以下であり、飲食店利用の予定でも2割を下回った。

今年の夏（7月～9月）のレジャー予定について、「飲酒を伴う複数人での飲食店利用」の割合が14.5%で最も高く、次いで「映画」11.2%、「美術館・博物館」9.1%の順である。

・性別では、男性は女性に比べて「飲酒を伴う複数人での飲食店利用」の割合が高い。

・年代別では、20・30代は「海水浴」の割合が他の年代に比べて高い。

■今年の夏のレジャー予定【複数回答】



調査数	飲酒を伴う複数人での飲食店利用	映画	美術館・博物館	海水浴	遊園地・テーマパーク	その他のアウトドアスポーツ	会場でのライブ・コンサート	会場での観劇	登山・ハイキング	キャンプ	あてはまるものはない	
全体	484	14.5	11.2	9.1	6.8	5.8	5.6	3.7	3.5	3.1	2.7	61.8
性別												
男性	210	20.5	12.4	6.7	5.2	5.7	7.1	3.8	2.9	3.3	3.3	59.5
女性	274	9.9	10.2	10.9	8.0	5.8	4.4	3.6	4.0	2.9	2.2	63.5
年代別												
20・30代	134	9.0	11.2	6.7	17.2	9.7	3.7	5.2	3.0	2.2	6.0	59.7
40・50代	166	17.5	11.4	9.6	4.2	5.4	7.2	3.0	3.0	2.4	1.8	60.8
60代以上	184	15.8	10.9	10.3	1.6	3.3	5.4	3.3	4.3	4.3	1.1	64.1

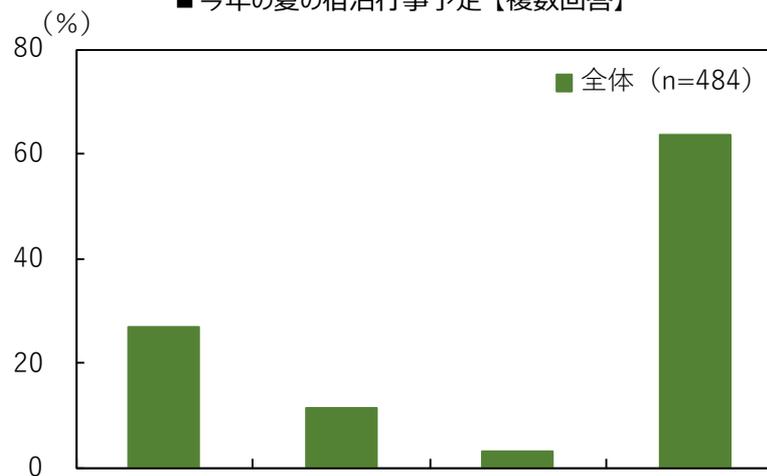
2. 今年の夏の宿泊行事予定

7月中旬の調査時点で、今年の夏の宿泊旅行予定層は3割を下回った。

今年の夏（7月～9月）の宿泊行事予定について、「宿泊旅行」は27.1%、「宿泊での帰省」は11.4%、「宿泊での出張や業務」は3.1%である。

- ・性別では、男性は女性に比べて「宿泊旅行」の割合がやや高い。
- ・年代別では、50代以下は「宿泊での帰省」、60代以上は「宿泊旅行」の割合がやや高い。

■ 今年の夏の宿泊行事予定【複数回答】



	調査数	宿泊旅行	宿泊での帰省	業務宿泊での出張や	はあてはまるもの
全体	484	27.1	11.4	3.1	63.6
性別					
男性	210	30.0	11.4	4.8	59.0
女性	274	24.8	11.3	1.8	67.2
年代別					
20・30代	134	24.6	18.7	2.2	59.7
40・50代	166	24.1	14.5	4.8	64.5
60代以上	184	31.5	3.3	2.2	65.8

3. 宿泊旅行の行き先

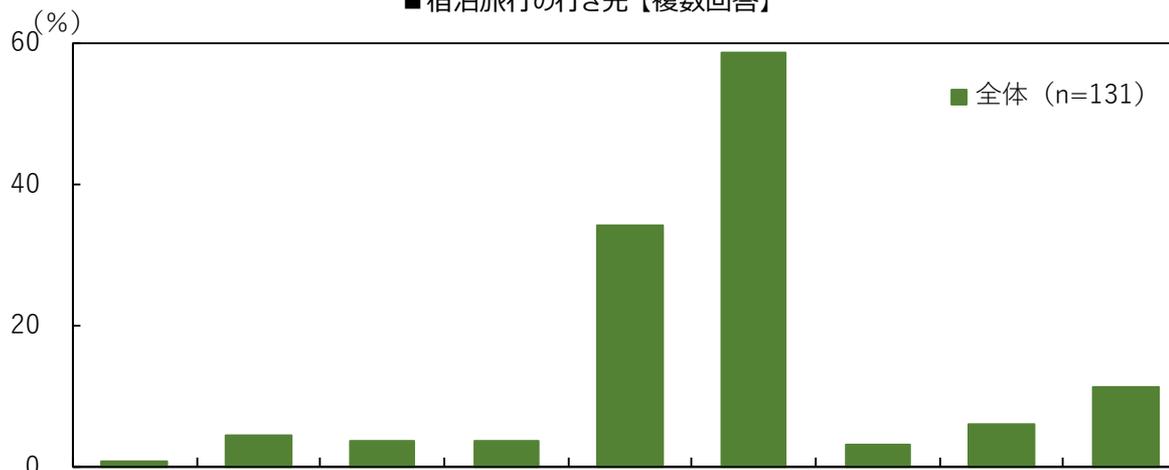
* 宿泊旅行予定層限定

宿泊旅行予定層のうち、行き先を九州とする割合が8割と高く、コロナの影響のためか近場志向が高い結果となった。

宿泊旅行予定層に行き先を尋ねたところ、「福岡県を除く九州」の割合が58.8%で最も高く、次いで「福岡県」34.4%であり、いずれかを選択した「九州」旅行予定層は8割である。

- ・性別では、男性は「福岡県を除く九州」、女性は「福岡県」の割合が高い。
- ・年代別では、20・30代は「東京都を除く首都圏」、40・50代は「福岡県」の割合がやや高い。

■ 宿泊旅行の行き先【複数回答】



調査数		海外	東京都	首都圏 東京都を除く	近畿圏	福岡県	九州 福岡県を除く	沖縄	北海道	その他	九州	
全体	131	0.8	4.6	3.8	3.8	34.4	58.8	3.1	6.1	11.5	78.6	
性別	男性	63	1.6	4.8	0.0	4.8	28.6	65.1	3.2	7.9	9.5	81.0
	女性	68	0.0	4.4	7.4	2.9	39.7	52.9	2.9	4.4	13.2	76.5
年代別	20・30代	33	0.0	3.0	12.1	3.0	33.3	57.6	3.0	3.0	3.0	81.8
	40・50代	40	2.5	7.5	0.0	2.5	42.5	55.0	2.5	7.5	12.5	80.0
	60代以上	58	0.0	3.4	1.7	5.2	29.3	62.1	3.4	6.9	15.5	75.9

九州：「福岡県」「福岡県を除く九州」のいずれかの回答層

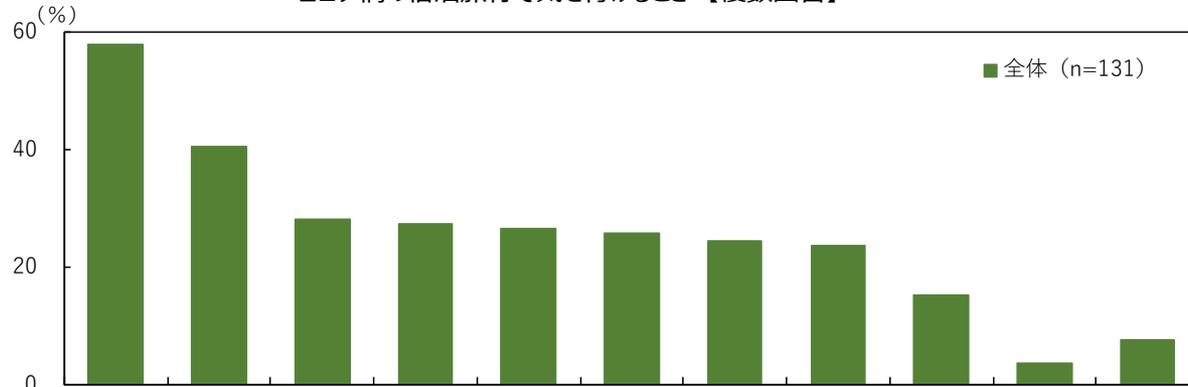
宿泊旅行予定層の6割が移動手段を車としている。

コロナ禍の宿泊旅行で気を付けることについて、「公共交通機関は使わず、車で移動する」の割合が58.0%で最も高く、次いで「人が多そうな場所への観光・立ち寄りは避ける」40.5%、「なるべく近場のエリアにする」28.2%の順である。

・性別では、男性は女性に比べて「公共交通機関は使わず、車で移動する」の割合が高い。

・年代別では、40代以上は20・30代に比べて「帰省ラッシュなどの混雑時に重ならないよう、時期をずらす」の割合が高い。また、40・50代は「室数が少ない小規模な宿泊先を選ぶ」、60代以上は「感染者数が少ないエリアを選ぶ」の割合が他の年代に比べてやや高い。

■ コロナ禍の宿泊旅行で気を付けること 【複数回答】



調査数		公共交通機関は使わず、車で移動する	人が多そうな場所への避ける	なるべく近場のエリアにする	感染者数が少ない	旅行日数を短くする	時期をずらす	帰省ラッシュなどの混雑時に重ならないよう、時期をずらす	人との接点が少なくて済む宿泊先を選ぶ	部屋の食や貸切風呂など、感染防止対策を実施している場所を選ぶ	宿泊先や立ち寄り先は、室数が少ない小規模な宿泊先を選ぶ	その他	特になし
全体	131	58.0	40.5	28.2	27.5	26.7	26.0	24.4	23.7	15.3	3.8	7.6	
性別													
	男性	63	65.1	41.3	27.0	31.7	27.0	20.6	20.6	11.1	1.6	6.3	
	女性	68	51.5	39.7	29.4	22.1	25.0	27.9	26.5	19.1	5.9	8.8	
年代別													
	20・30代	33	63.6	33.3	27.3	24.2	21.2	9.1	24.2	15.2	0.0	6.1	9.1
	40・50代	40	50.0	42.5	35.0	17.5	25.0	32.5	25.0	22.5	25.0	7.5	10.0
	60代以上	58	60.3	43.1	24.1	36.2	31.0	31.0	24.1	29.3	17.2	0.0	5.2

5. 宿泊旅行に行くための条件

* 宿泊旅行非予定層限定

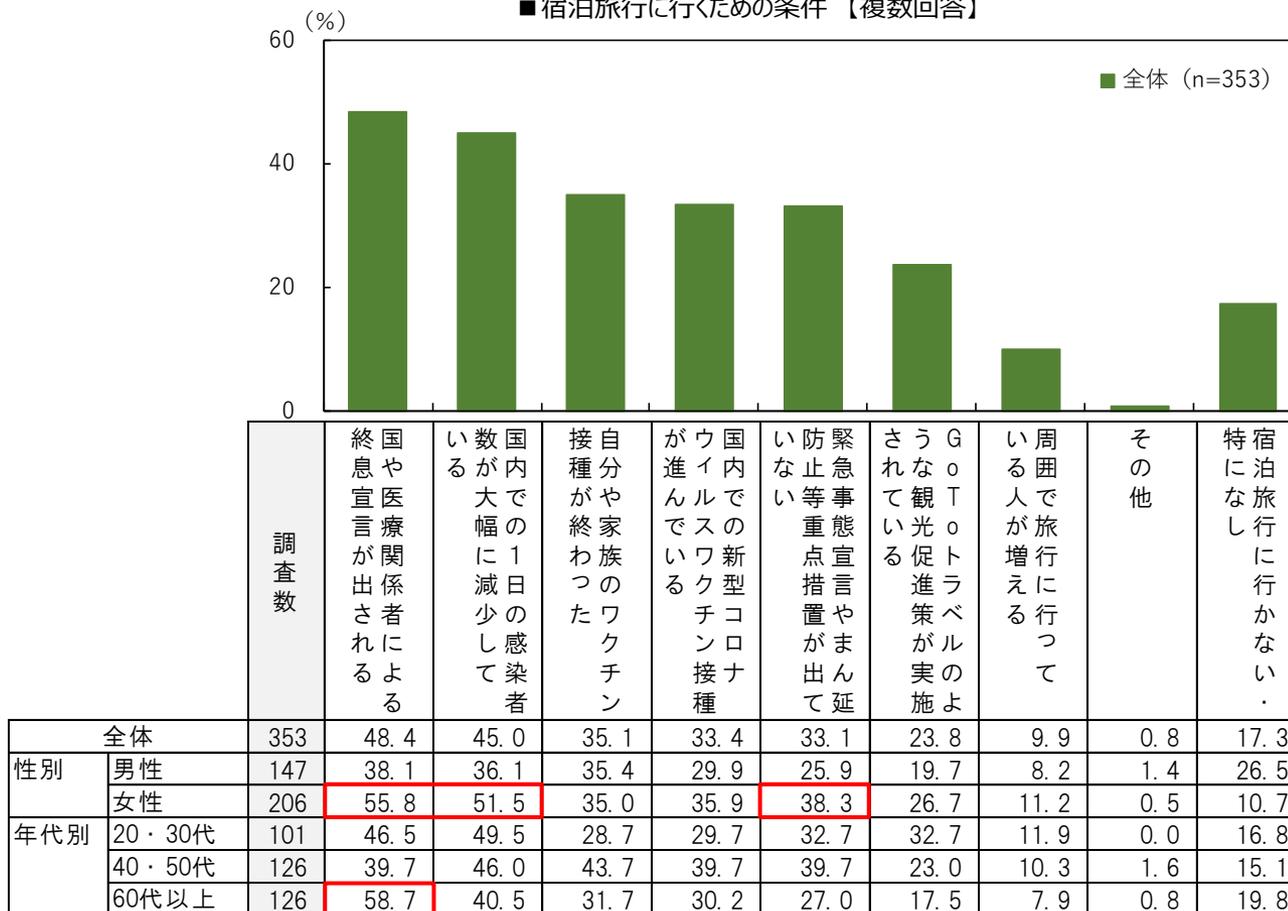
高齢層ではワクチン接種や感染者数の減少以上に、終息宣言が出されるまでは宿泊旅行を控える意識が高い。

宿泊旅行非予定層がコロナ拡大前と同じように宿泊旅行に行くようになるための条件は、「国や医療関係者による終息宣言が出される」の割合が48.4%で最も高く、次いで「国内での1日の感染者数が大幅に減少している」45.0%、「自分や家族のワクチン接種が終わった」35.1%の順である。

・性別では、女性は男性に比べて「国や医療関係者による終息宣言が出される」「国内での1日の感染者数が大幅に減少している」「緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ていない」の割合が高い。

・年代別では、60代以上は「国や医療関係者による終息宣言が出される」の割合が他の年代に比べて高い。

■ 宿泊旅行に行くための条件【複数回答】



マーケティングリサーチからコンサルティングまで 福岡・九州の生活者マーケティングは、株式会社ジーコム

1986年の創業以来、30年以上福岡・九州で
「マーケティング・リサーチ」と「ビジネスコンサルティング」の専門会社として、
顧客視点に基づく科学的なアプローチによつて的確な課題解決策を導き出し、
マーケティングサポートを行っています。

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221 FAX 092-761-0228

<https://www.gcom-net.co.jp/>

inq@gcom-net.co.jp